

■武庫川河川改修事業他について 以下の図面箇所の課題・整備方針についてお聞かせ下さい。

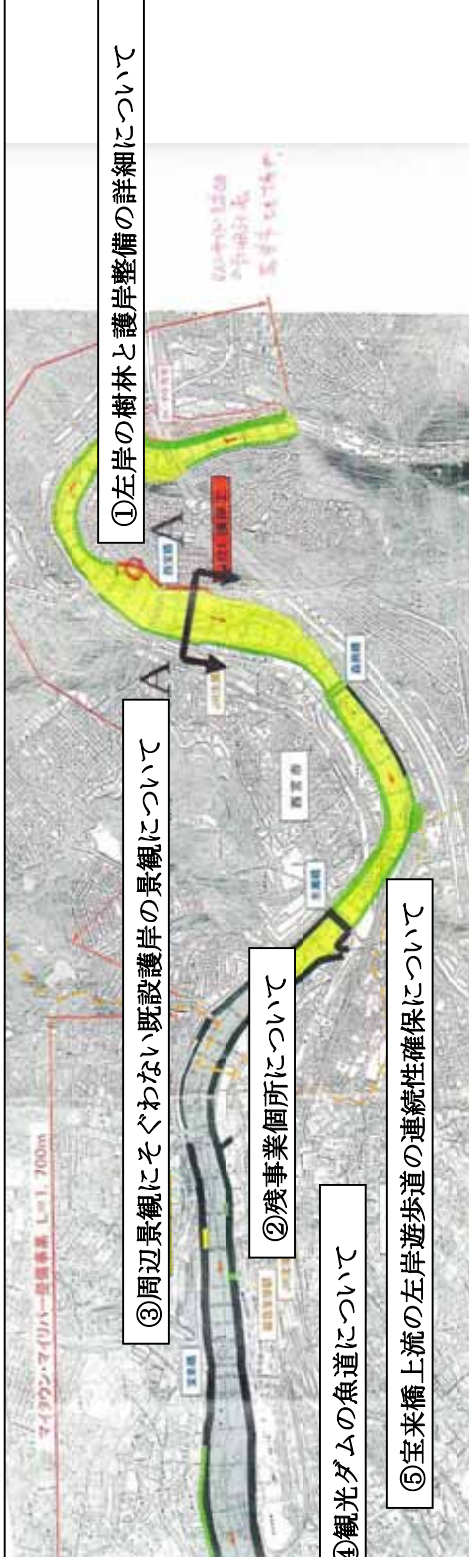
091023 武庫川流域委員会委員 田村博美

第91回運営委員会資料-3に基づき、県の説明以降10/12に委員他7名で現地を含めてリバーサイド住宅跡地及び生瀬地区改修予定地、宝塚中心市街地左岸武庫川を視察しましたが、その際今後の河川整備を含めて気になる事項がありましたのでいくつか質疑し、県の見解をお聞かせ頂きたいと思っております。

①左岸の樹林と護岸整備の詳細について 現在、左岸自然護岸上に生育している樹林は河畔景観を作り背後の住宅地に対しても適度の緩衝緑地、また河原でのレクリエーションにとっても程よい自然の日陰となっています。改修予定図面ではこの樹林が改修後どのようなものか、また環境配慮型ブロック仕様となっていますがどのようなもので、どの程度効果があるのか教えて下さい。21年度工事となっていますが市民との協議や河原の整備についても教えて下さい。

②残事業箇所について この箇所は図面と現地を比べると岩の自然護岸の箇所と想定されますが、現地を見ると街中で唯一昔の武庫川の面影を残す場所であり、またかろうじてクヌギ（コナラ？）と榎が生育している貴重な場所で、今後との保全すべき箇所と考えますが如何でしょうか。

③周辺景観とそぐわない既設護岸の景観について H16年23号台風後の緊急整備であったとしてもあまりにも見苦しい護岸景観について何らかの対応策が必要と考えますが如何でしょうか。また今後このようなことが発生しないような対策についてのお考えを教えてください。



④観光ダムの魚道について 観光ダムの湛水は時期的には必要な場合もありますが、普段は鴨川のように流れの状態の方が中心市街地の景観と人々の親水という面から良いと考えますが如何でしょうか。また魚道に水が流れていない状態でしたが上下流を移動する魚（とくにアユ）や生物にとって非常に好ましくと考えますが如何でしょうか。またどこが管理しているのでしょうか。

<意見書関連写真>

①左岸の樹林と護岸整備の詳細について



②残事業箇所について



③周辺景観とそぐわない既設護岸の景観について



④観光ダムの魚道について



⑤左岸の遊歩道（高水敷）の連続性確保について

